

こしがや市議会だより

# harmony

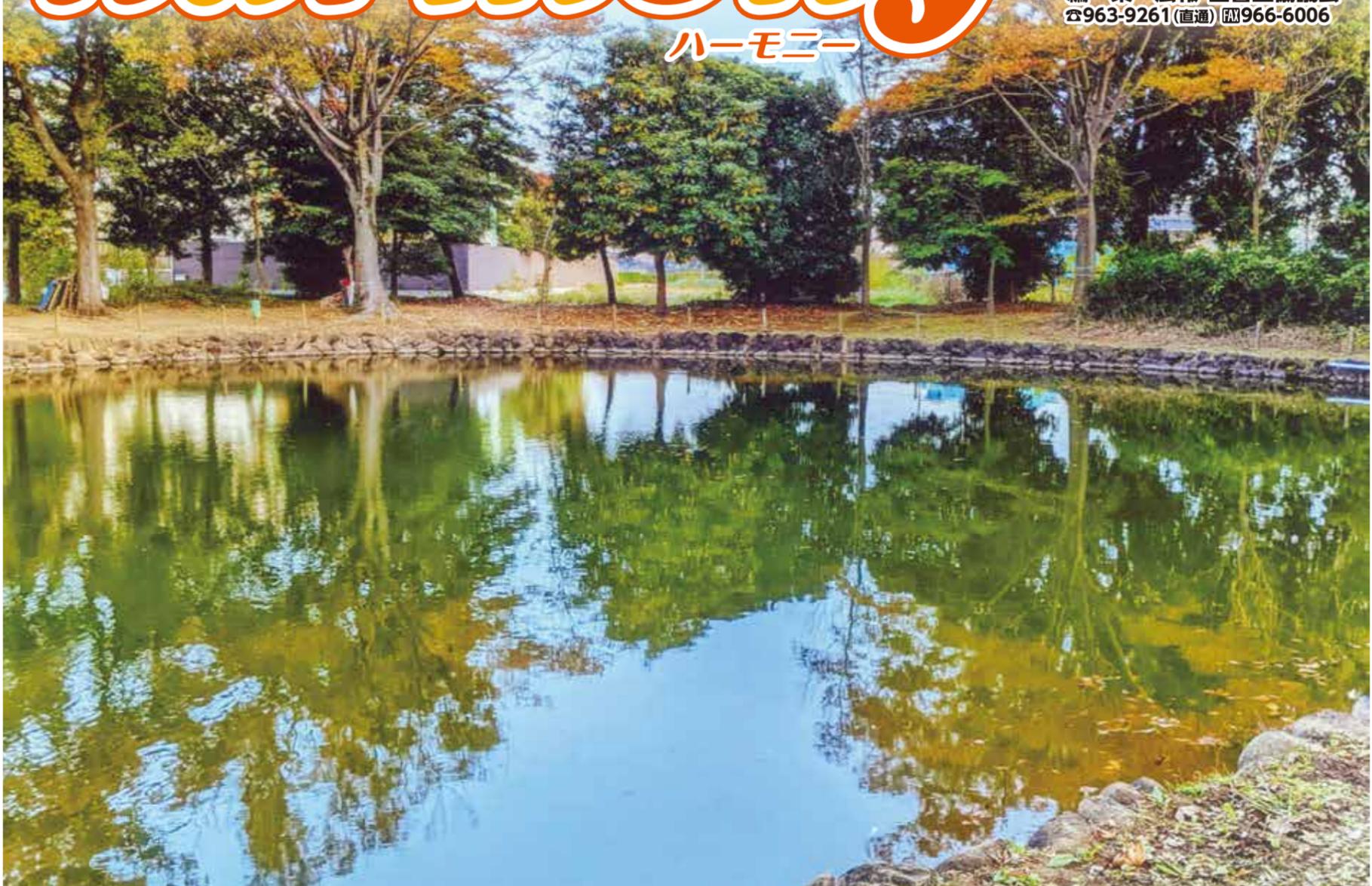
ハーモニー

No.222

令和5年(2023年)

11月1日

発行 越谷市議会  
編集 広報・図書室協議会  
☎963-9261(直通) ☎966-6006



## 今後の越谷サンシティのあり方に関する方針 の議決に関する条例制定へ

— 6月定例会で採択された請願の要旨を踏まえ —

- ◇主な議案の内容……………②③
- ◇審議結果……………③
- ◇常任委員会の審査……………④⑤
- ◇市政に対する一般質問……………⑥⑦
- ◇市議会からのお知らせ……………⑧

### 9月定例会の概要

令和5年9月定例会は、9月1日から26日までの26日間にわたり開催しました。

本定例会では、「令和4年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について」など、32件の市長提出議案をそれぞれ可決または認定しました。

また、提出された請願2件「沖縄を再び戦場にしないため、対話と外交による問題解決をはかるよう国に意見書の提出を求める件」、「健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に提出することを求める件」は賛成少数で不採択となりました。(各議案の結果は3ページに掲載しています。)

※定例会の日程は市議会ホームページをご覧ください。

### 災害時対応訓練を行いました

令和5年9月定例会中に、「越谷市議会災害時対応訓練」を行いました。

越谷市議会では、各議員が災害時に的確に行動できるようにすることを目的に、毎年9月に災害時対応訓練を行っています。コロナ禍では、新型コロナウイルス感染症対策のため、議員一同が集まった訓練を控えていましたが、今回は4年ぶりに委員会室に集まり、訓練が行われました。

※詳しくは8ページをご覧ください。



市議会だよりの表紙写真を募集しています。  
(詳しくは8ページをご覧ください。)

表紙の写真「秋色に映る」  
撮影者 松井 徳子様(平方在住)  
撮影場所 平方公園(令和4年(2022年)11月)

こしがや市議会だよりの愛称「harmony」は、ワンチームを連想させ、調和を奏でるとの思いが込められています。

UD FONT  
by MORISAWA



スマホ用アプリ「マチイロ」で市議会だよりをご覧ください。

マチイロ

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。

越谷市議会

検索

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/gikai/>



# 主 な 議 案 の 内 容

質疑および討論については、その主なものを掲載しています。  
各議案の概要は市議会ホームページに掲載しています。



## 市長提出議案

### 今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の議決に関する条例制定について

本議案は、今後の越谷サンシティのあり方に関する方針について、議会の議決事件とする必要があるため、提案されました。

#### ▶ 議案質疑

問 今回の条例提案は5請願第1号の趣旨に沿ったものか。

答 本年6月定例会で採択をされた5請願第1号について、真摯に受け止め対応するというのが本市の基本姿勢である。そのため、請願の要旨の一つである、今後の越谷サンシティのあり方に関する方針を議決事項とすることについて、提案するものである。

問 請願の要旨にある、南越谷地区のにぎわい創出に十分配慮することについても真摯に受け止めるということか。

答 本来の目的もそのようなものになっており、しっかりと真摯に受け止めたい。

### 越谷市立小中一貫校整備PFI事業に係る特定事業契約の締結について

本議案は、越谷市立小中一貫校整備PFI事業に係る特定事業契約の締結をするにあたり、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律の規定により、提案されました。

#### ▶ 議案質疑

問 落札グループの方が約12億円安い入札価格であったが、この結果の受け止めは。また、建築の質や安全性、あるいは下請業者等に影響が出ないか。

答 前回の評価では性能8割、価格2割の設定であったが、議員の意見等を受け性能7割、価格3割に変更した。その上での総合評価点で判断したものである。また影響等については、市としてモニタリングをしっかりとやっていくこと、この契約自体が公契約条例に該当することから、しっかりと守られていくべきことだと考える。

#### ▶ 反対討論

▷ PFIは導入可能性調査の時点で、直接施工とのコストの差のみを問題とするが、学校建設をコストで判断することはなじまない。また、学校施設の維持管理が民間に丸投げになる懸念が拭えないことから、本議案に反対する。

### 令和4年度歳入歳出決算認定

一般会計の決算額は、歳入では対前年度比0.3%減の1331億9283万円、歳出では対前年度比0.8%増の1232億2821万円でした。

8つの特別会計全体の決算額は歳入が628億2861万円、歳出が602億3818万円でした。

病院事業会計では、収益的収入および支出のうち収入の決算額は119億1760万円、支出の決算額は121億6159万円、資本的収入および支出のうち、収入の決算額は6

億6061万円、支出の決算額は12億4053万円でした。なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などから補てんしました。

公共下水道事業会計については、収益的収入および支出のうち収入の決算額は、67億4289万円、支出の決算額は59億6202万円で、資本的収入および支出のうち収入の決算額は21億9967万円、支出の決算額は40億4649万円でした。なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分損益勘定留保資金などから補てんしました。

一般会計および各特別会計の歳入歳出決算認定、ならびに事業会計決算認定の11議案については、予算決算常任委員会において4日間にわたって審査しました。

※委員会における主な審査の内容は、5ページの「予算決算常任委員会の審査」をご覧ください。

※表示単位未満を四捨五入しています。

#### (一般会計歳入歳出決算認定について)

##### ▶ 議案質疑

問 住宅・店舗改修促進補助金に対する評価は。

答 令和4年度は210件の交付決定を行い、税抜きの概算工事費は約2億4811万円となった。抽選倍率は約2倍となるなど市民ニーズも高く、受注拡大による経済効果や地域内経済の循環、地域の住環境の改善につながる効果的な事業であると考え。

##### ▶ 反対討論

▷ 小中一貫校整備事業3学園構想について、統廃合や大規模化が子どもたちに対して悪影響であるとの指摘および改善要求に市教育委員会は聞く耳を持たない。どんなに訴えても見直しすらされない事業に賛成できないことから、本決算認定に反対する。

##### ▶ 賛成討論

▷ 健全財政の維持を念頭に置き、積極的な財源確保に努めつつ、各分野における施策が意欲的に実施され、創意と工夫を凝らした事業の推進が図られたものと判断し、本決算認定に賛成する。

#### (国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について)

##### ▶ 反対討論

▷ 2度の消費税増税とコロナショックに加え、ウクライナ侵攻と異常な物価高騰により市民生活への影響はさらに深刻なものとなる中で、市民に寄り添い真摯に対応する姿勢が不十分と言わざるを得ないことから、本決算認定に反対する。

## 請 願

※請願の全文はホームページに掲載しています。



### 沖縄を再び戦場にしないため、対話と外交による問題解決をはかるよう国に意見書の提出を求める件

#### 請願の要旨

先の戦争で多大な犠牲を払った沖縄が再び戦場にならないように、対話と外交による平和構築の積極的取り組みを行うよう国の関係機関に働きかけていただきたい。

#### ▶ 反対討論

▷ 抑止力を強化するため、攻撃されたら反撃するのは当然のことであり、反撃能力の保有の最大の目的は、敵対国に対してわが国を侵略することの難しさを知らしめることにある。沖縄を再び戦場にしないためにも、積極的防衛能力の保持が必要と考えることから、本請願に反対する。

▷ 対話と外交に関して、政府は外交力と防衛力を強化して、自由で開かれた国際社会構築に貢献する考えを示している。また、中国は健全な関係を維持していかなければならない国であり、日本が平和安全法制で専守防衛の範囲内に納めたことを中国は深く理解していることから、本請願に反対する。

▷ 国民の命と平和な暮らしをしっかりと守れる体制を国内外に明確に示すことが、対話や外交による問題解決を実現するための説得力につながるものと考え。また、対話に頼るだけでは、国家の安全や国益を保護することは困難と言わざるを得ず、そのため、軍事的な備えや同盟関係の強化など、さまざまな対策を講じる必要があると考え、本請願に反対する。

#### ▶ 賛成討論

▷ 政府は、軍事力増強は抑止力になっているが、かえって地域周辺の緊張を高め、不測の事態を生ずる危険性が増すことへの懸念は拭えない。また、敵基地攻撃能力による攻撃は、相手国からのミサイルなどによる報復を招くことは必須で、沖縄が再び標的とされるとの不安が広がっている。日本が再び戦地になることは、誰も望んでいないと考え、本請願に賛成する。

▷ 日中双方が互いに脅威とならない、それを遵守すると表明しており、この合意の誠実な履行と具体化は、日中双方に課せられた重い責任であり、そのためにも丁寧な対話がどうしても必要である。武力は持たないとした平和憲法を生かした外交努力を政府に期待し、平和を愛する市民の声を、地方議会を通じて国に示すことは大変重要であると考え、本請願に賛成する。

▷ 戦争が絶対に生じない永遠平和の構築が最重要であると考え。本市では、平成20年11月3日に越谷市平和都市宣言を行っている。また、本請願をきっかけに、関係機関に対し、対話と外交による平和構築への取り組みを求める動きが全国へと波及し、実現することをせつに希望することから、本請願に賛成する。



### 健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に提出することを求める件

#### 請願の要旨

以下の内容の意見書を国に提出してください。

1. 健康保険証の廃止の中止を国に求めること

#### ▶ 反対討論

▷ マイナ保険証に他人の情報がひも付いてしまう問題については、いわゆるヒューマン

エラーであり、デジタル化したことでそのミスが発見しやすくなったものである。このようなミスが出てきたからといって、マイナ保険証を否定することは大きな間違いであり、むしろ再発防止に向けたデジタル化の恩恵、過度期の措置の一つと捉えるべきである。ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でもより良い方向に変化させる、いわゆるDX推進を止めてはならないと考え、本請願に反対する。

▷ 個人情報の漏洩やひも付け誤りは、決してあってはならないが、最も重要なことは、適切な対策を講じ、同じ誤りを繰り返さないことであり、国民の信頼を回復するために、適切な再発防止対策と丁寧な説明で国民の不安解消に努めることだと考える。また、国民健康保険と後期高齢者医療に関しては、約半数の市民が既に登録を完了しており、市内医療機関等の8割で準備が整っていることを勘案すると、健康保険証の廃止を中止することは、これまで努力をしてきた市民や医療機関

等の理解が得られないと考え、本請願に反対する。

▶ 賛成討論

▷ 誤登録やひも付けミスが多発しており、誤投薬など命に関わる問題の発生、保険者の事務負担の増加等が懸念される。また、受付での事務的なトラブルを回避するために健康保険証を存続させることは、全ての医療機関や市民にとって有益であると考え。地域の小さな医療機関では、オンラインシステム導入による経費圧迫のため閉院を余儀なくされた医療機関も実際に存在し、地域医療が脅かされる事態になっている。市民がどの医療機関を受診してもスムーズに資格確認がなされ、誤投薬等の心配をせずに安心して医療を受けるためには、健康保険証を廃止せず、存続させることが望ましいと考え、本請願に賛成する。

▷ 市内では今のところ、ひも付けミスなどは発覚していないというものの、今後も一切

ミスがないことは保証できない。この制度の強行の裏に、個人情報や資格を儲けのために使いたいという財界の意向があることも明らかになっている。マイナ保険証の利用率はわずか5%に過ぎず、医療機関の8割でカードリーダー導入がされているとは言え、これも義務化によるもので、理解や納得が進んだとは到底言えない。多くの市民の声を代弁した切実な願いの声であると受け止めるべきと考え、本請願に賛成する。



**令和5年9月定例会 審議結果** ◇議案の概要は市議会ホームページから確認できます。

すべての議員が賛成した議案（議長・欠席者を除く）

議案番号	付託委員会	議案名	議案番号	付託委員会	議案名
市長提出第61号	省略	越谷市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(足立 夢実 氏(新任))	市長提出第78号	予算決算	令和5年度越谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
市長提出第62号 ～ 第65号	省略	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(市川 美砂子 氏(再任) 駒場 伸子 氏(再任) 吉村 総一 氏(再任) 高橋 護 氏(再任))	市長提出第79号	予算決算	令和5年度越谷市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計補正予算(第1号)について
市長提出第66号	総務	今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の議決に関する条例制定について	市長提出第80号	予算決算	令和5年度越谷都市計画事業東越谷土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号)について
市長提出第67号	民生	越谷市手数料条例及び越谷市旅館業法施行条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第81号	予算決算	令和5年度越谷都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号)について
市長提出第68号	環境経済・建設	市道路線の廃止について	市長提出第84号	予算決算	令和4年度越谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第69号	環境経済・建設	市道路線の認定について	市長提出第85号	予算決算	令和4年度越谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第70号	子ども・教育	越谷市立体育館条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第86号	予算決算	令和4年度越谷市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第71号	子ども・教育	しらこぼと運動公園競技場改修工事請負契約の締結について	市長提出第87号	予算決算	令和4年度越谷都市計画事業東越谷土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第72号	子ども・教育	財産の取得について(しらこぼと運動公園競技場計時機器)	市長提出第88号	予算決算	令和4年度越谷都市計画事業七左第一土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第73号	子ども・教育	財産の取得について(空気清浄機)	市長提出第89号	予算決算	令和4年度越谷都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第75号	予算決算	令和5年度越谷市一般会計補正予算(第4号)について	市長提出第90号	予算決算	令和4年度越谷市公共用地先行取得事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第76号	予算決算	令和5年度越谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	市長提出第91号	予算決算	令和4年度越谷市病院事業会計決算認定について
市長提出第77号	予算決算	令和5年度越谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	市長提出第92号	予算決算	令和4年度越谷市公共下水道事業会計利益処分及び決算認定について

賛否が分かれた議案・請願

議案番号	付託委員会	議案名	会派名																	賛成	反対	本会議決結果																		
			自由民主党越谷市議団					公明党越谷市議団				刷新クラブ			無所属の会		立憲民主党		日本共産党				市民ネット		維															
議案番号	付託委員会	議案名	野口 佳司	伊藤 直樹	金井 玲子	島田 代子	小林 豊代子	清田 喜男	立澤 貴明	横井 聖美	竹内 栄治	瀬賀 恭子	畑谷 茂	久保田 茂	藤部 徳治	和泉田 宏幸	武藤 孝夫	松島 高志	浅古 高明	野口 貴光	菊地 秀嗣	白川 恭子	大野 豪人	斎藤 孝江	後藤 高寛	小口 来夢	土屋 大助	山田 秀次	工藤 裕子	大和田 裕子	清水 泉	大田 ちひろ	小林 成好							
市長提出第74号	子ども・教育	越谷市立小中一貫校整備PFI事業に係る特定事業契約の締結について	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	4	可決	
市長提出第82号	予算決算	令和4年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	4	認定
市長提出第83号	予算決算	令和4年度越谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	3	認定
5 請 願 第 2 号	総務	沖縄を再び戦場にしないため、対話と外交による問題解決をはかるよう国に意見書の提出を求める件	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	20	不採択	
5 請 願 第 3 号	民生	健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に提出することを求める件	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	21	不採択	

凡例 ○…賛成 ×…反対 議…議長(議長は採決に加わりません) 欠…欠席 <<越谷市議会議員 条例定数=32人 現員数=32人>>  
 会派名の刷新クラブは「越谷刷新クラブ」、無所属の会は「こしがや無所属の会」、立憲民主党は「立憲民主党越谷市議団」、日本共産党は「日本共産党越谷市議団」、市民ネットは「越谷市民ネットワーク」、維は「日本維新の会」の略

# 常任委員会 (部門別)の審査

9月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案9件と請願2件が部門別の常任委員会に付託され審査を行いました。  
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。

## 総務

沖縄を再び戦場にしないため、対話と外交による問題解決をはかるよう国に意見書の提出を求める件

本請願は、紹介議員ならびに参考人として請願者のうち3名の出席を求め審査を行いました。

質疑・討論の後、本請願を採択することについて採決し、賛成多数により採択と決しました。

※なお、9月26日の定例会最終日に委員長から審査経過ならびに結果の報告があり、討論・採決の結果、本会議においては、賛成少数により不採択と決しました。

問 今回44名の方が請願者となるに至ったきっかけは。また、沖縄に関する問題について越谷市議会から意見書を提出する意義は。

答(参考人) 請願を通じて国や社会に訴えることができるのではないかと意見が増えていき、次第に請願者も増えた。また、越谷市は平和都市宣言をしており、全国的に広がっていく契機になると考えている。

問 特に北朝鮮は国交も正常化されておらず、対話ができない状況のなかで、危険を回避できると考えているのか。

答(参考人・紹介議員) 北朝鮮が日本と信頼関係を持てるようになれば、ミサイル攻撃や核開発の必要性も減り、脅威の削減が可能と考える。相手が対話に乗らないとしても、こちらからの外交努力は続けてもらいたい。

▶**発言** 反撃能力は、やむを得ない必要最小限度の自衛の措置として行使されるものである。現状において、政府は沖縄を再び戦場にしないため、対話と外交による問題解決を図る努力を惜しまず頑張っているものとする。

▶**賛成討論** 石垣市議会は長射程ミサイルの石垣島配備について、到底容認できないとする意見書を採択した。今年、日本は戦後78年になり、この平和がずっと続くよう願うのは市民の強い思いであるとの理由から、本請願に賛成する。

▷ 日本政府、中国政府の両政府から互いに脅威とならないとの合意について、順守するという表明がされており、大変重要な到達点と言える。日本政府に努力してほしい、そして、本市議会からもこの声を政府に届けてほしいという願意に賛同し、本請願に賛成する。

今後の越谷サンシティのあり方に関する方針の議決に関する条例制定について

問 サンシティ整備スケジュールの遅れは想

定されるか。

答 附属機関の立ち上げ等に相応の時間が掛かると考えられること等を考慮すると、いつ事業に着手できるか等については予断を持って答えることはできないが、現在計画で掲げている令和11年度のリニューアルオープンはいささか厳しい状況にあると考える。

問 本議案の法的根拠である、地方自治法第96条第2項を活用していくことについての見解は。

答 同条第1項では市政運営上の重要事項は網羅されておらず第2項を積極的に活用すべき、との論調がある一方、同法の首長の専属事項を踏まえ第2項の活用は極力抑制すべき、との論調もある。一律に判断するのではなく、例えば一定の基準を設けるとしても、時間をかけて慎重に検討すべきものであると考える。

## 民生

健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に提出することを求める件

本請願は、紹介議員ならびに参考人として請願者のうち3名の出席を求め審査を行いました。

質疑・討論の後、本請願を採択することについて採決し、賛成少数により不採択と決しました。

※なお、9月26日の定例会最終日に委員長から審査経過ならびに結果の報告があり、討論・採決の結果、本会議においても、賛成少数により不採択と決しました。

問 現行保険証の廃止の中止を求める理由は。

答(参考人) マイナ保険証を利用しない方が、資格確認書を取得する必要性について、納得できる説明がされていない。資格確認書は、現行の健康保険証と取り扱いがほぼ変わらず、発行には今以上の税金が必要となる。現行保険証を継続するほうが合理的であると考える。保険証の廃止は見直していただきたい。

問 マイナ保険証のメリットは。

答(執行部) 転居時などの健康保険証の作り直しや、更新作業が不要となる。また、一元的に情報を集約できるため、保険証の誤使用がなくなるほか、限度額適用認定証の取得手続きを行うことなく医療機関で情報の確認ができる。さらに、同意があれば、診療情報などを医師等が確認でき、効果的な医療が期待できる。確定申告時の医療費控除への活用もできる。医療機関の事務軽減も期待できる。

▶**発言** マイナンバーカードは市民の利便性向上や業務効率化に寄与しており、マイナ保険証についても、コスト削減や効果的な医療の実現につながっている。ひも付け誤り等はあってはならないが、繰り返さないことが重要であり、国は再発防止対策と説明に努める必要がある。保険証の廃止延長などであれば願意の検討も考えられるが、廃止の中止は市民や医療機関の理解が得られないと考える。

▷ マイナ保険証により、市では総点検を押し付けられている。また、医療機関の中には、現行保険証の廃止に反対するポスターを掲示したり、署名を置いている場所がある。また、世論調査でも、今のスケジュールのまま現行保険証を廃止すべきという声は少数である。これらのことから、当該請願は市民の声を代弁したものであると受け止めるべきである。

▶**賛成討論** マイナ保険証を巡るトラブルの報道は後を絶たないが、国は現行の健康保険

証廃止を撤回しようとしめない。リスクやデメリットにも触れていない。この国の態度が、市民や医療機関、市政運営に混乱をさせていることは否定できない。混乱の軽減解消には、現行の健康保険証の継続が簡単で効果的であると考えることから、本請願に賛成する。



## 環境経済・建設

市道路線の認定について

「廃止した路線の終点を変更するにあたっての、市道認定の考え方」に関する質疑がありました。

## 子ども・教育

越谷市立体育館条例の一部を改正する条例制定について

問 体育館の名称を「越谷市立地域スポーツセンター」とした経緯は。

答 大沢地区自治会連合会や体育協会、レクリエーション協会等へのアンケートで得票数が最も多かった「越谷市立地域スポーツセンター」とした。なお、地域の住民からは「大沢」の名前を入れてほしいとの意見もあったが、市民全体で使用する体育館であることなどを説明し、ご理解をいただいた。



越谷市立地域スポーツセンターの完成イメージ

越谷市立小中一貫校整備PFI事業に係る特定事業契約の締結について

問 小中一貫校事業費の増額理由は。また、契約後に建築費用を増額する可能性は。さらに、建物完成後の学園での教育方針は。

答 建築費等の高騰が原因と捉えている。また、今回事業者からいただいたプランは要求水準書を満たしているうえに、やや優れていると全審査員が評価しているものであり、現在のところ増額は考えていない。ただし、今後学校現場へのヒアリング等により、増額する可能性はあるが、基本的には予算内に収めることを中心に考えていきたい。さらに、本市初の小中一貫校の設立であるため、それぞれの学園でコンセプトをもって教育活動を進めていきたい。

▶**反対討論** 計画策定にあたり、保護者等からの意見聴取が不足している。課題に対してもこれから考えるとの話で具体的な対応策になっておらず、教育委員会の都合による施設建設ありきで、子どものための計画とは言えないと考える。本議案に反対する。

## 予算決算委員会 常任委員会の審査

9月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案18件が予算決算常任委員会に付託され、各分科会に送付し審査を行いました。  
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧ください。



## 総務分科会

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第4号)について

問 防災ラジオの購入予定は。また、災害時要援護者避難支援制度の要援護者に対する防災ラジオの配付状況は。

答 補正で500台の購入を予定し今年度合計800台となる。また、要援護者520人に対し、令和4年度の先行配付で106台、令和5年度は11台の先行配付を行った。



防災ラジオ

令和4年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 市税徴収率が0.2ポイント上昇した要因は。

答 預貯金照会システムの本格導入による積極的な財産調査の実施や、債権差し押さえを主とした滞納処分等の取り組みが徴収率上昇に寄与したものと考える。

問 ホームページシステム保守管理等委託料の内訳は。また、市ホームページのリニューアルに伴う成果は。

答 主にホームページのリニューアル経費や運用管理委託料等であった。ネット市役所等の導入を行い、より検索しやすくわかりやすいホームページの構築を行った。

問 システム標準化に向けた進捗状況は。

答 令和4年度は、標準準拠システムへの移行に必要となる調達仕様書等を作成するための業務委託等を行った。現在実施しているRFIDの結果を踏まえ、令和6年度から実際のシステム移行等に取り組む予定である。

問 メディカルコントロール体制の令和4年度の状況とその効果は。

答 心肺停止や窒息など、5つの症例ごとの活動手順を定めたプロトコルの運用のほか、救急現場で常時医師に連絡を取れる体制の確立、救急活動の事後検証、検証結果の実習への活用、といったPDCAサイクルを回すことにより、救急活動の質の保証と向上に役立ったものと考えている。

## 民生分科会

令和4年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 緊急通報システムを拡充させる考えは。

答 65歳以上の市民税非課税世帯で、電話回線を有する方のうち、発作症状を伴う疾患がある一人暮らしの方等を対象としている。対象者については、都度拡充を図っている。今後も市民ニーズ等を参考にしながら事業拡充について検討していきたいと考えている。

問 産後ケア事業の対象を拡充させる考えは。

答 家族等からの援助を受けられない、出産後、心身の不調や不安がある方を対象としており、対象設定の際は国の指針を参考にした。現在、国では対象の拡充について検討しているとのことであるため、指針が示され次第、事業に反映できるよう準備していきたい。

令和4年度越谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 ジェネリック医薬品差額通知の効果は。

答 郵便料金やコールセンター、通知作成費用などにより、約25万円の費用負担が生じた。一方で、ジェネリック医薬品への切り替え率は約16%であり、保険者分と加入者自己負担分を合計した効果額は約179万円であった。

令和4年度越谷市病院事業会計決算認定について

問 第六期中期経営計画における取り組みは。

答 連携充実加算等の新たな施設基準の取得により約2340万円の収益が確保できたほか、ジェネリック医薬品の採用推進により、約1億4500万円の経費が削減できた。また、コロナ患者を受け入れてきた8-1病棟の取り扱いを変更することで、高度治療室の設置を検討している。設置により、一定程度の費用はかかる見込みであるが、診療報酬等の増額が見込めると考えている。

## 環境経済・建設分科会

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第4号)について

問 冠水センサーの設置箇所を今後増やしていく考えは。

答 今回は市内39か所にセンサーを設置し、当初予算で11か所設置することにより、合計50か所に設置する予定である。



冠水センサー

令和4年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 カラス被害対策業務委託料の内容および効果は。

答 北越谷駅東口周辺においてカラスによる被害対策を講じているものであり、令和4年度には民間業者と協定を締結し実証実験を行った。実験では、スピーカーやカメラなどの機器を電柱に設置し、遠隔地からカラスの忌

避音声を流し、駅周辺からカラスを分散させることの効果を検証し、飛来していたカラスの減少が見られた。

問 職業能力開発支援事業の令和4年度の実績および効果は。

答 令和4年度は各種セミナーを合計45回開催し、延べ528人の参加があった。すべてのセミナーにおいて速やかに定員に達しており、アンケートでは95%を超える満足度となっている。また、特に支援が必要かつ需要が高い就職氷河期世代、女性、高齢者に対するセミナーの充実を図った。

問 アスベスト室内環境測定等委託料の決算金額が上昇している理由は。

答 令和4年4月に改正大気汚染防止法が施行されたことから、既存の建築材料について、改修工事着手前にアスベストの含有調査を行う必要が生じたため、その委託料が増加したものである。

問 マンション管理適正化推進計画策定の進捗状況は。

答 令和4年度に実施した分譲マンション実態調査の結果を踏まえ、施策の方針等について検討しているところである。

## 子ども・教育分科会

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第4号)について

問 教育センター事務費について、超過勤務手当および相談件数増加の内容は。

答 複数の新規事業があったことなどから業務量が増加した。また、来所相談件数は令和5年度末には7500件に上る見込みである。SNS相談もiPadによる相談等の取り組みを進めていることから増加している。

令和4年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 プラス保育幼稚園事業の成果は。

答 待機児童の多い0から2歳児までを対象とする小規模保育事業所の卒園児童の受け皿として機能し、待機児童の減少につながった。

問 学童保育室における夏休み期間中の給食提供日数が予定よりも少なくなった理由は。また、今後日数を拡大していく考えは。

答 各学校給食センターにおける改修工事等が夏休み期間中に実施されたことから5日間に減少した。各施設の老朽化が進む中で令和5年度までは厳しい状況だが、令和6年度以降は稼働できる給食センターの調整を行うなど、提供日数を拡大していきたい。

問 市立図書館における専門書や学術書の蔵書方法と市民からのリクエストへの対応は。

答 越谷市立図書館資料収集方針に基づき、専門書や学術書も蔵書している。また、市内に希望する本がない場合、県内他市の図書館からの取り寄せも可能となっており、リクエストにより提供できる体制を整えている。

全体会において、以下のとおり討論がありました。

令和4年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

令和4年度越谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

各議案の概要・請願の内容は右記QRコードからご覧いただけます。



議案

請願

# 市政に対する 一般質問

9月定例会では20人の議員が市政全般について質問を行いました。  
※一般質問は、議案に関係なく、市の行政事務について市長および執行機関に質問することで、越谷市議会では1人1時間を目途に行われます。



視覚障がいがあっても安心して歩ける歩行環境について



越谷市民ネットワーク **山田 裕子** 議員

問 視覚障がい者にとって、横断歩道を渡ることは命懸けである。音響式信号機の設置や、横断歩道をまっすぐに歩くための道しるべとなるエスコートゾーンの敷設を進める考えは。

市長 市内では音響式信号機を29か所、エスコートゾーンを9か所設置している。今後も視覚障がい者団体の方々などからの要望等を踏まえ、設置について警察と調整を図っていく。



小中学生の荷物の重量問題について



越谷刷新クラブ **浅古 高志** 議員

問 荷物が重いことで転倒時、防御姿勢が取れないなど、さまざまなリスクが考えられるがどの様な対応をとっているのか。

教育長 現在では、市内全ての学校において、児童生徒の発達段階や学習上の必要性等の実態から、全てまたは一部の学習用具を置いて帰ることを認めている。今後についても、学校と保護者が連携を図りながら、児童生徒の負担軽減に向け、登下校時の荷物について配慮するよう、指導していく。



市内のホームドア設置の現状と今後の計画について



越谷市民ネットワーク **清水 泉** 議員

問 近年、ホームで電車を待つ間、ベビーカーや目の見えない方の転落事故が起きている。特に大袋駅では心配する市民の声がある。駅のホームドア設置の今後の計画は。

市長 東武スカイツリーラインは、令和17年度までに越谷駅の急行線、せんげん台駅、大袋駅を整備する予定、JR武蔵野線では、令和13年度までに南越谷駅、越谷レイクタウン駅を整備する予定と聞いている。



校舎の安全性の確保について



立憲民主党越谷市議団 **小口 高寛** 議員

問 小中学校の老朽化による外壁タイルの剥離や損傷しているコンクリート階段等、修繕が必要な校舎の安全性の確保は。

教育長 学校の現状を確認し、点検等により、安全上の問題や不具合がある箇所については、必要に応じて応急処置を行い、一定規模以上の場合は予算を確保し、改修工事を行うなど、全てには対応できてはいないが、優先順位を設けて順次改修等を行い、危険箇所などの対応に努めていく。



不登校統計に入らない欠席等の多い児童生徒への対策について



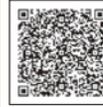
しがや無所属の会 **大野 恭子** 議員

問 昨年の本市における不登校児童生徒は小学校203人、中学校398人となっている。また、長期の欠席に陥る前に対応することが重要と考えるが、不登校を本格化させないために何らかの基準等を定め、早期の段階で統一した対応をとる考えは。

教育長 不登校の未然防止のための早期対応マニュアルのようなものについて、先行事例を参考にしながら作成し、早期の対応や家庭への連絡等に生かしていきたい。



簡易な改修工事について



しがや無所属の会 **斎藤 豪人** 議員

問 しらこぼと運動公園のテニスコートはコート面の剥がれが多くありプレー中につまずいてしまう危険がある。公共スポーツ施設においては、誰もが安全に気軽に取り組むことができなくてはならないと考える。スポーツ施設の簡易的な修繕工事について今後の取り組みは。

教育長 部分的な修繕を行いつつ、優先順位の高い施設から順次改修をする。



一部外国人による迷惑行為等への対策について



自由民主党越谷市議団 **立澤 貴明** 議員

問 越谷市内における一部外国人による迷惑行為等への対策についての考えは。

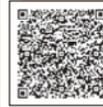
市長 パトロールの実施や交通違反取締りを越谷警察署に依頼した。また、駅周辺への防犯カメラの設置や青パトによる下校時の安全確保、民間事業者や自主防犯活動団体と連携した防犯活動を実施している。今後も越谷警察署をはじめとした関係機関と連携し対応するなど、犯罪の起きにくいまちづくりに取り組んでいく。



青パトによるパトロールイメージ



災害への対応について



自由民主党越谷市議団 **金井 直樹** 議員

問 会社や工場は、浸水すると機械が壊れて仕事が出来なくなる。浸水を防ぐために止水板を設置することが有効と考えるが、設置に際し、市から補助金を交付する考えは。

市長 止水板設置にあたり、補助金を交付している自治体が県内にあることは把握している。国の交付金を活用できるか等、調査研究し、止水板の設置に向けて検討したい。



マイナ保険証の利用における市民や市内医療機関等への影響について



日本共産党越谷市議団 **山田 大助** 議員

問 市民が医療機関でマイナ保険証を利用した際に、正しい情報が示されないケースはどのくらいあるか。またマイナ対応できないことを理由に廃業した市内医療機関があるが、把握しているか。

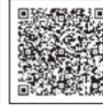
市長 マイナ保険証に本人以外の情報がひも付いていた場合は、本人が国等に問い合わせるため、市では把握できていない。医療機関の廃止理由にマイナ保険証の記載はないが、きっかけになった可能性はある。



医療機関窓口でもマイナ保険証反対の声



障がい者などの農業就労について



日本維新の会 **小林 成好** 議員

問 障がい者などの農業就労いわゆる農福連携は、農業、福祉におけるそれぞれの課題を解決する取り組みと考えるが、越谷市の取り組みは。

市長 農福連携の取り組みは障がいのある方の就労機会の創出、農業分野での雇用促進にもつながり、双方にメリットがあると認識している。本市農業技術センターや指定障害福祉サービス事業所しらこぼとで取り入れている。

各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。



**保育所における紙おむつサブスクリプション型サービスの導入について**



公明党越谷市議団 **藤部 徳治** 議員

**問** 保護者並びに保育士の負担軽減に資するとして紙おむつ、おしり拭きの管理を保護者・保育士間から、保護者・業者間とするサブスクリプション型サービスを導入する考えは。

**市長** 現在、導入した場合のメリットや課題等について整理しており、今後導入した自治体に対しても、効果等を伺うことを考えている。これらを踏まえて、サブスクリプション型サービスの導入を検討する。



**旧蒲生小学校解体工事の地元住民への影響について**



日本共産党越谷市議団 **大和田 哲** 議員

**問** 近隣住民から振動や騒音、粉じんなど、工事の影響による苦情が寄せられた。これまでの対応策と、(仮称)蒲生学園開校まで都合3回の工事の影響がある。市民への十分な対応はできるのか。

**教育長** 今回の工事の影響で、内壁亀裂やガラスの落下、軒下隙間など、家屋破損が6件生じ、損傷箇所の修繕を実施した。今後の工事の影響については、住民の皆様にも不足のないよう対応していきたい。



**糖尿病重症化予防策について**



公明党越谷市議団 **和泉田 宏幸** 議員

**問** 糖尿病の長期治療中断者を対象とした治療の勧奨を新規事業とする考えは。

**市長** 長期治療中断者等の方へのアプローチの強化は、糖尿病の重症化予防対策として有効と考える。共同事業の主体である埼玉県国民健康保険連合会に見直し要望をしていく。先進事例の調査研究および次期越谷市国民健康保険保健事業実施計画で、独自に長期治療中断者等への対策実施を含め検討する。



**激甚化する自然災害に対する避難行動について**



こしがや無所属の会 **菊地 貴光** 議員

**問** 自主避難所をルール化する考えは。

**市長** 在宅避難に不安のある方への早めの避難行動が取れるよう、他団体の事例を参考に調査研究していきたい。

**問** 「何でも行政がやる、市民は頼るだけ」ではなく、行政と市民が一緒に災害に立ち向かうよう認識を改めるべきでは。

**市長** 災害時には、自助・共助が基本であり重要だと考えている。その必要性、重要性を一層周知啓発に努めていきたい。

**自主避難所の生活ルール**

- 自主避難所では食料品、日用品の提供は行いません。毛布、水、食糧、着替え、ラジオなど生活必需品は、避難者が持参してください。
- 避難所の入所時、退所時ともに避難者名簿等に必要事項の記入をお願いします。
- 指定された部屋以外のご利用はお控えください。また、施設に備えてある備品等には触れないようお願いいたします。
- 自主避難所内は、禁煙・禁酒です(敷地内を含む)。
- 避難者滞在スペースは、22時消灯、6時点灯とします。場所を譲り合って使用してください。また、夜間の出入りはお控えください。
- ペットはケージに入れてください。避難者とは別のスペースを用意します。
- 気象・災害の情報は携帯端末やラジオにて各自での収集をお願いします。
- 自主避難所へ出たごみは、ご自身でお持ち帰りください。

小金井市の自主避難所の生活ルール



**教育の質向上と教員の業務軽減について**



立憲民主党越谷市議団 **土屋 来夢** 議員

**問** MEXCBTの活用は教育の質向上と教員の業務軽減に貢献するものと考えているが、教育長の考えは。

**教育長** MEXCBTは国の教育DXの一部として構築され、自治体間でデジタル問題を共有し、自動採点と素早い結果返却、多角的な分析、印刷削減等のメリットがある。本市においても、各学校で教材の質向上と教員の負担軽減を促進するため、MEXCBTの機能の効果を検証する。



**市内の病児保育施設における手続簡略化に向けた取り組みの進捗について**



自由民主党越谷市議団 **横井 聖美** 議員

**問** 病児保育施設を利用する際の手続簡略化の進捗状況は。

**市長** 来年度に向け、病児保育室を利用したい方がいつでも施設の空き状況を確認でき、予約なども行うことができるシステムの導入を検討している。手続の簡略化や利用者の利便性向上だけでなく、施設職員の事務負担軽減にもつながり、保育の質の向上も見込まれると考えている。



**シェアサイクルについて**



越谷刷新クラブ **野口 高明** 議員

**問** 社会実験を行わずに本格実施を始める都市が増加している。環境にも優しくCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ政策への重要な施策と言える。導入や企業支援に向けた取り組みは。

**市長** 利便性向上、公共交通の補完、地域経済の活性化、環境負荷の低減、放置自転車対策、災害時の交通機能の維持など、社会課題の解決につながる効果が期待できる。関係部局と連携を図る中、シェアサイクルの導入について検討していく。



浦和美園駅郊外のサイクルポート



**エッセンシャルワーカーの処遇を改善し人手不足を解消することについて**



日本共産党越谷市議団 **工藤 秀次** 議員

**問** エッセンシャルワーカーは女性の割合が高い。男女の賃金格差を無くすことが必要ではないか。

**市長** 人材確保の課題については、現場からの声をいただくことも多い。人材の確保や育成、定着のための処遇改善等については、これまでも国に対して、中核市市長会などを通じて提言を行ってきているが、引き続き機会を捉え、提言をしっかりと行っていきたい。



**殺処分ゼロ継続へ向けた取り組みについて**



越谷刷新クラブ **松島 孝夫** 議員

**問** 保健所主催の譲渡会を定期的開催し、犬や猫の譲渡件数を増やす考えは。

**市長** 譲渡会の定期的な開催は、市民への周知につながることから検討する。

**問** 市のホームページに動物保護団体のホームページへのリンクを貼るなど、犬や猫の譲渡情報を広報する考えは。

**市長** ボランティア団体との協力が必要不可欠であり、ホームページにリンクを貼ることなどについても、前向きに検討する。



**有機農業の現状と今後の取り組みの推進について**



越谷市民ネットワーク **大田 ちひろ** 議員

**問** 越谷市での有機農業の現状と今後の取り組みの推進は。

**市長** 本市で化学肥料や農薬を使用しないなど、有機農業に取り組む農業者は3名把握しており、耕作面積の合計は約2.4ヘクタールで、本市の耕地面積910ヘクタールに占める割合は約0.26%である。今後は、有機農業者の実施する就農体験プログラムの取り組みとの連携、協力も検討したい。

## 災害時対応訓練を行いました

令和5年9月定例会期中に行われた「越谷市議会災害時対応訓練」では、以下の内容に取り組みました。

### シェイクアウト訓練

県議会が主催するシェイクアウト埼玉(県内一斉防災訓練)に参加しました。シェイクアウト訓練として、「低い体勢を取り」「頭を守り」「動かない」訓練を本会議終了後の各議席で行いました。



本会議場におけるシェイクアウト訓練の様子

### 安否確認訓練

議会内グループウェアを活用した安否確認の訓練を行い、災害時における連絡手段の確認を行いました。

### 救命講習の受講

第1委員会室で消防局の職員による「救命講習」を受講し、応急手当の重要性、AEDの使用方法を学びました。



救命講習の様子

スマートフォンアプリ「防災こしがや」ダウンロードはこちら



Android版



iOS版

## こしがや市議会からの

# お知らせ

### 議会人事

令和5年9月定例会において、以下の議会議員の辞職に伴い、次の方を選出しました。

越谷・松伏水道企業団議会議員  
藤部 徳治 立澤 貴明

### 12月定例会の開催予定

令和5年12月定例会は、12月1日(金)から12月20日(水)までの20日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(☎963-9261)



越谷特別市民  
ガーヤちゃん

### 傍聴して一言

本定例会では、175人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

■初めて議会を傍聴したが、議会の流れ全体が見られてとてもよかった。質問内容も身近な内容が多かったため興味深く最後まで聞くことが出来た。

■以前の議場よりも段差が少なくなり、議員と近くなったように感じる。音が聞きとりやすく、明るい議場で良い。

■議員の質問に対し、的確な答弁であるとは感じられないところがあった。

### 編集後記

9月定例会は、請願をはじめ市長提出議案に対し各委員会・分科会で慎重に審議されました。本会議や委員会は、ライブ配信も行っておりますが、本庁舎8階の議場や委員会室は誰でも傍聴できるようになっています。市議会に直接ふれることで一層市政を身近に感じられる機会だと思いますので、是非とも傍聴にお越しください。

広報・図書室協議会委員  
齋藤 豪人

あなたが撮影した写真を表紙に掲載します！

## 表紙写真募集



令和6年2月1日号のこしがや市議会だよりの表紙写真を募集します。

### 募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に合うもの

### 応募規定

1人1回につき2枚まで。おおむね3年以内に撮影したもの。(ただし、景観に変化がなければ制限はありません)

### 応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方

### 応募期間

令和6年(2024年)1月11日(木)まで

### 応募方法・応募先

応募票に写真を添えて議会事務局(本庁舎7階)まで提出してください。

また、写真をメールで提出していただくこともできます。採用された写真には、応募者(撮影者)の氏名、写真のタイトル、撮影場所を掲載します。なお、応募写真は表紙に合わせて、適宜トリミングや文字の追加等の画像編集を行いますのでご了承ください。

※応募規定など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

## 市議会ホームページをご覧ください



市議会ホームページは定例会に関する情報や議員名簿、議会の仕組みなど多数のコンテンツを掲載しています。議会に関する情報取得にぜひご利用ください。

議会中継は、ライブ中継、録画中継がご覧になれます。本会議、委員会の様子をご覧ください。

会議録検索では過去20年分の記録をご覧になれます。